

## 生徒の皆さんへのメッセージ

氏名 益戸 優太

誰も経験したことのない緊急事態の中、みなさん体調を崩さず過ごしていますか？みなさんの声がしない学校はとても寂しく、学校が学校ではないという感じです。みなさんと過ごすはずだった大切な時間が失われたことは、とても残念でなりません。しかし、これはお互いの命を守るためのことであり、勉強も部活も友達も、みなさんの健康があってこそその活動ですので、もう少しだけ今の生活を頑張っていきましょう。そして、感染拡大を阻止し、1日も早く通常の生活を取り戻しましょう！学校が再開し、またみなさんと学校生活を過ごせることを楽しみにしています。それまで絶対に元気でいてください。

氏名 永井 悠仁

こんにちは、永井です。3月からの臨時休校により、改めて先生という仕事には生徒という存在がどれだけ大きいかを再認識しています。週1の登校日がとても待ち遠しく、また元気に登校してくる姿を見ることがここ最近の一番の仕事の楽しみです。

さて、今は新型コロナウイルスにより臨時休校という長いトンネルの中にいますが、どんなトンネルにも必ず出口はあります。いざ、出口に着いたとき、その先に自分が歩み続けられるか今の生活リズムを見つめてください。出口まではまだあります。直すべきところはしっかり改善し、また準備すべき事は時間のあるうちにしていきましょう。昔読んだ『山月記』という本の中に、“人生は何事もなさぬにはあまりにも長い、何かをなすにはあまりにも短い。”という一文があります。これから始まる新様式の生活のために、今からしっかりと準備をして心機一転、新しい気持ちで臨み、生徒皆さんにできる“何か”を実行しましょう。

光ヶ丘中学校でまた、生徒皆さんと勉強できる日を楽しみに、永井も一層準備に熱を入れて頑張ります！